

研究チームの紹介コーナー

工務部
技術開発グループ

当グループは、高木グループ長のもと、変電部門・架空送電部門・地中送電部門から集まった総勢17名で構成されています。担当する業務は、「工務部門の技術開発業務の総括および変電・架空送電・地中送電設備に関する研究の実施」、「工務用品形式業務の総括および変電・架空送電・地中送電設備に関する形式業務の実施」、「工務部の知的財産管理の総括および変電・架空送電・地中送電設備に関する知的財産管理の実施」など多岐にわたる業務を担当しています。



メンバー写真

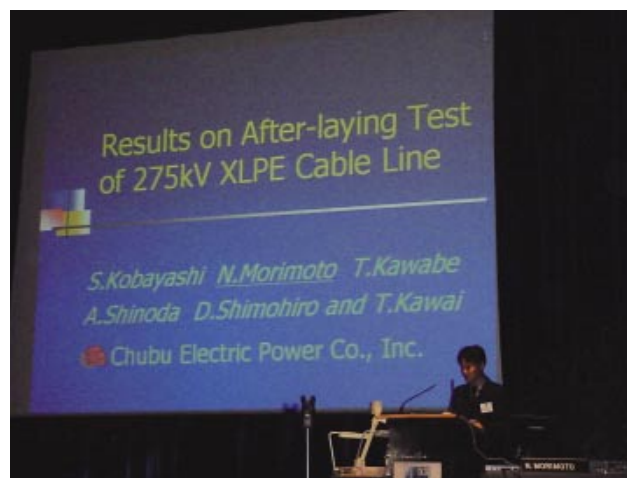
ここでは、私たちが最近取り組んでいる業務のトピックスを紹介します。

1 技術研究開発

工務関係設備の設備の徹底した有効活用、保守運用の効率化など保守コスト削減に資する研究に重点をおいた研究開発計画を策定し、今年度は工務部全体で42件の研究を推進しています。主な研究件名は以下のとおりです。

発 変 電	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器の寿命評価研究 変圧器漏油修理手法に関する研究 VCB点検合理化に向けた実用化研究
架 空 送 電	<ul style="list-style-type: none"> 鋼管鉄塔内部腐食の防食対策技術に関する研究 グラウンドカバー植物の鉄塔敷地への適用研究 低コスト難着雪対策技術に関する研究
地 中 送 電	<ul style="list-style-type: none"> CVケーブル用終端部の外部診断技術に関する基礎研究 深部洞道の蓄冷効果に関する研究 超高圧OFケーブルの高温適用に関する研究

また、国内外の学会へ積極的に情報発信しており、昨年度は当グループから国際学会へ5件の発表を行いました。



国際学会での発表の様子

全社工務部門研究発表会の工務部事務局も担当しています。第6回を迎えた今年は、9月14日に中電労組会館で実施し、各支店から20件の業務研究成果が発表されました。



全社工務関係技術研究発表会 発表の様子

2 工務用品形式、標準化

送変電設備の資材・機器については、供給信頼度の維持と調達・保守コストの低減のため、予め精密な検査を行ったものを購入する、「工務用品形式制度」を設けており、当グループは検査を担当しています。近年は、大手電力資機材メーカーの統合に伴う登録品の製造中止や部品変更など、資機材の安定調達に影響を及ぼす事案への対応や検査に取り組んでいます。

また、当グループでは、JEC(電気学会電気規格調査会)やIEC(国際電気標準会議)など40余りの規格・標準化機関に、電力会社代表として参画し、JECや電力用規格に電力の意見を反映させる取り組みを行っています。